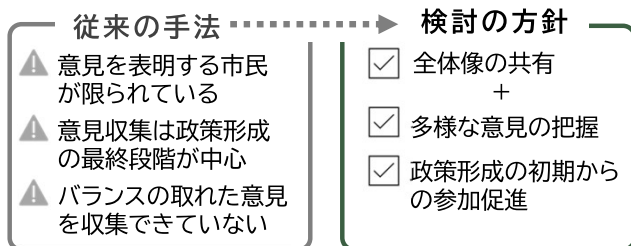


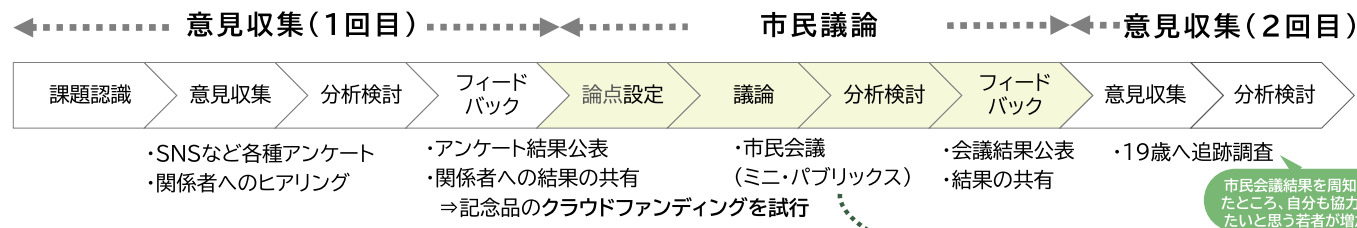
現状と課題を踏まえた目指す仕組み



目指す仕組み

札幌市全体や将来を見据えた意見を持つ市民が増え、市民と行政がともに課題解決に取り組める仕組み

成人の日行事の在り方検討プロセスの検証



本プロセスの試行から得られた知見

- ・ SNSや無作為抽出によるアンケート、ミニ・パブリックスの活用
 - 幅広い市民が市政に参加するきっかけとして有効
- ・ 段階的な市民意見の収集・整理(行政が最初から方向性を決めない)
 - 市民が主体的に自身の考えや議論を深めていくことが可能
 - 想定していなかった新たな視点を柔軟に取り込むことが可能

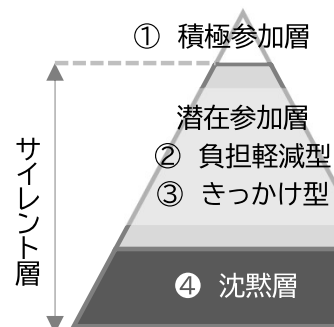
会議結果と政策の方向性

- ① 新成人を実施委員会に含める
 - ② 区ごとの開催を継続する
 - ③ 行政の補助の割合を増やす
- = 若者の参画と新たな財源の確保の検討を柱に地域と協議していく

(提言1)サイレントマジョリティへのアプローチモデル及び政策形成プロセスモデルの導入検討

サイレントマジョリティへのアプローチモデル

市民を市政関心度と行動意欲により4層に分類し、各層に効果的な手法を用い多様な意見を把握する



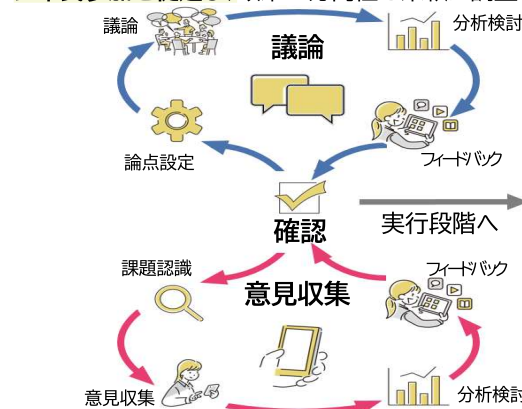
各層へのアプローチ方法

- ① 参加の継続を促進する
- ② 参加にかかる負担を軽くする
- ③ 魅力的な条件などを用意
- ④ 中長期的な観点で意識醸成

継続的なアプローチによって、上位の層への移行を促す

政策形成プロセスモデル

意見収集、議論、確認のプロセスを通じ、初期から段階的に市民参加を促進し、政策の方向性も柔軟に調整する



- | | |
|-------|------------------|
| STEP1 | SNS等を活用して傾向を把握 |
| STEP2 | 正確な情報を基に市民議論 |
| STEP3 | 意見が十分に反映されたことを確認 |

(提言2)市民参加推進ガイドラインの策定 (提言3)市民参加を支える仕組みの整備

ガイドラインの策定

各種手法や運用ルールを明記し実効性を確保する



(R8年度中を目途に策定を検討)

今後に向けて

市民参加の仕組みは、一度確立すれば完結するものではない。実践を重ねながら、継続的な見直しと改善を図ること。



市民参加を支える仕組み

持続可能な市民参加を支える方策を整備する

- ① 市民サポーターズ制度
 - 登録制の市民モニター
- ② 市民ファシリテーターの育成
 - 市民の進行役の育成
- ③ 若年層の参加促進
 - 学校教育等での意識醸成
- ④ 情報提供・フィードバック強化
 - 全体像を共有するための市役所内の推進体制整備